

平成28年度（2016年度）事業報告書

昨年から世界各地において、グローバリゼーションへの反動とも言うべき政治・経済の両面にわたる内向き志向が顕著になり、先行きの不透明感が強まりつつある。そうした中、中国は今年、第13次五カ年計画の2年目として、改革深化の正念場を迎えることとなる。3月に開催された全国人民代表大会では、今後の経済運営の方向性として、安定を第一に供給側改革と総需要の適度な拡大によって、6.5%前後の経済成長を目指すことが報告された。この実現は、日本はもとより、世界経済にとっても望まれるものである。

日中経済協会では、昨年9月に日本経済団体連合会及び日本商工会議所と共に**第42回日中経済協会合同訪中代表団**を派遣し、張高麗国務院常務副総理との会見をはじめ、中国の主要経済官庁の幹部との会議、中国企業家との対話を行った。その中で、中国の構造改革の着実な実行及び知財権保護をはじめとするビジネス環境の改善につき、具体例を挙げつつ要望すると共に、「新次元の日中産業協力」を提言した。また、11月末には、日中両国関係省庁との共催にて、4年ぶりに両国主催者トップの参加の下、総勢800名の出席を得て、省エネルギー・環境分野における日中協力の更なる深化を図るため、**第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム**を北京で開催した。

1. 調査情報サービス事業

(1) 委員会・部会

①21世紀日中関係展望委員会（委員長 福川伸次・元通商産業事務次官）

平成28年度は計6回の委員会を開催した。前半4回の委員会での審議を経て、9月に第13回提言書「**不断の改革とグローバル協力の新展開—日中関係の深さと拡がりを目指して—**」を取り纏め、後半2回は日中経済協会合同訪中代表団や日中省エネ・環境総合フォーラム等の協会事業を踏まえ、次年度の事業の方向性を議論した。

本提言書については、取り纏め直後に派遣された日中経済協会合同訪中代表団において、張高麗国務院常務副総理との会見の際に宗岡団長から説明のうえ手交したのをはじめ、中国の経済関係省庁との全体会議や日中企業家対話の席でも広く配布された。

【別添資料3】

②日中経済交流検討会議

事業活動相互の有機的な連携を図ることを目的に、平成27年度に経済交流委員会と業務諮問部会を発展的に統合して、正副会長会社等実務者が参加する本会議を新たに設置した。平成28年度は計7回の会議を開催し、各分野の専門家や研究者等からそれ

ぞれレクチャーを受けた後、中国の経済動向、ビジネス事情の変化、事業環境の改善要望等につき意見・情報交換を行った。

7回の会議テーマは次の通り。

- ・イノベーションと国際標準－政策展開と日中協力の方向
- ・日中経済関係と中国の経済情勢
- ・大変革時代における科学技術イノベーション
- ・日中の観光交流の現状
- ・新興経済の台頭とアジア経済の新機軸－アジアの時代と日本のあり方
- ・RCEP と日中韓 FTA について
- ・環境分野での日中協力－気候変動対策

③賛助会員セミナー

平成 28 年度は以下のセミナーを開催（日中投資促進機構との共催）。

- ・ 8 月 24 日 「外交の最前線から見た中国の最新経済動向」
〔講師〕 前・日本大使館経済担当公使 高島竜祐
- ・ 12 月 13 日 「中国高齢化対策の最新動向」
〔講師〕 中国老齡科学研究中心副主任 党俊武
- ・ 2 月 24 日 「日本を抜き米国を猛迫する中国知財強国への改革」
〔講師〕 特定非営利活動法人 21 世紀構想研究会理事長 馬場錬成

④2016 年度関西地区会員懇談会

1 月 26 日、関西地区の賛助会員及び産官学各界との交流を目的として、大阪市内で懇談会を開催した。参加者は約 90 名。井上礼之副会長・関西本部長が挨拶し、岡本巖理事長が当協会の主要活動報告を行った後、富士通総研の柯隆主席研究員による講演（テーマ「2017 年の中国経済の行方」）を実施した。

（2）広報および情報発信

①『日中経協ジャーナル』発行

グローバルな視点に立つ日中経済関係のオピニオンリーダー・ビジネス情報誌として月刊『日中経協ジャーナル』を 12 回発行し、賛助会員、関係官庁、研究機関等に配布した。

なお、平成 25 年度より巻頭言で掲載している正副会長のメッセージについて、常任理事を加えて更なる充実を図った。スペシャルレポートでは、賛助会員企業の要望にも基づきつつ、2016 年の経済動向や新たな日中産業協力の方向性、中国企業の対外進出動向、東アジア経済連携に向けた動き等を詳細に分析・解説し、読者からの好評を得た。

【別添資料 4】

②『中国経済データハンドブック 2016年版』発行

中国の概況、政治体制、2015年の経済パフォーマンス、2016年の計画、13・5計画、国内経済、地域経済、対外経済、日中経済及び法制度、中国関係大事記などについて、最新データを基に整理し、更に省エネルギー・環境保護、高齢化対応、新型都市化等のページを継続的に充実させて、9月に発行した。

③ホームページを含む電子媒体による情報発信の改善・充実

賛助会員企業への情報コンテンツ「JCEA ニュース」をはじめ、各種イベント案内や中国関連情報を随時 E-Mail にて発信した。また、当協会ホームページ上で、中国ビジネス Q&A や資料日中経済など会員向け情報発信を拡大させると共に、情報提供の更なる迅速化に努めた。

(3) 中国のシンクタンクとの交流

岡本理事長をはじめとして、中国国務院発展研究センター(DRC)との交流を継続し、2016年4月には中国西安で開催された**第34回日中経済知識交流会**(日本側代表:福井俊彦キヤノングローバル戦略研究所理事長、中国側代表:李偉 DRC 主任)に出席した。また、DRC 主催の「**中国発展高層論壇 2017**」(17年3月、北京市)に岡本理事長等が出席し、中国のマクロ経済運営や供給側改革に向けた今後の施策、保護主義・反グローバルリズム等潜在的リスクへの対応について最新情報の把握と意見交換等を行い、その結果を会員企業に向け発信した。また平成28年12月には、民政部老齡科学研究中心・党俊武副主任一行の来日の機会に賛助会員セミナー「中国高齢化対策の最新動向」を開催した。

(4) 委託事業

①外部からの受託

国立研究開発法人・科学技術振興機構からの委託により「**中国知財戦略に関する調査業務**」を実施し、知財関係の専門家・研究者による中国知財戦略研究会(座長:荒井寿光 元内閣官房・知的財産戦略推進事務局長)を4回開催、年度末には報告書を取りまとめた。

また、株式会社きんざいが実施する通信講座「**アジア進出支援に強くなる講座(中国ビジネス支援編)**」テキストの改訂執筆を行った。

②外部委託の実施

「**中国制度情報調査**」を実施し、その成果を当協会ホームページに掲載し広く情報提供を行った。

2. 経済・技術交流事業

(1) 「2016年度日中経済協会合同訪中代表団」の派遣（9月20日～27日）

2016年度日中経済協会合同訪中代表団（通算第42回）を北京市、湖北省武漢市、襄陽市等に派遣した。 【別添資料5】

(2) 省エネルギー・環境協力

①第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラムの開催（11月26日）

日中省エネルギー・環境総合フォーラムを世耕弘成経済産業大臣、日中経済協会宗岡正二会長、国家発展改革委員会徐紹史主任、同委員会張勇副主任、商務部高燕副部长出席のもと、北京で開催した。 【別添資料6】

②日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会の活動

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会（JC-BASE）の事務局として、第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラムに向けたニーズの集約や案件・参加募集、中国の関係機関・企業や地方政府との交流を通じた情報収集・提供及びマッチングの促進などを行い、省エネ・環境ビジネスの中国での展開を支援した。

また、フォーラム終了後、「日中省エネルギー・環境総合フォーラムに関するアンケート」を実施し、第10回フォーラムについての改善点及び第11回フォーラムの分科会・地方視察・成果発表について意見・要望を吸い上げた。

③中国大気汚染改善協力ネットワークの活動

「山東・淄博日中大気汚染対策協力モデル区」の活動として以下を実施した。

- ・環境技術交流会（8月8日淄博市）。その後、山東省郭樹清省長、淄博市市長・副市长等と省内横展開につき意見交換。
- ・第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラムにおける日本企業及び淄博市発展改革委員会による報告。
- ・淄博市商務局来日、日本側ネットワークの山東省訪問による現地協議、電気集塵機試運転状況確認。

④その他

イ) 中国低炭素ビル視察訪日団（6月20日～24日）

環境保護部が進める低炭素ビル普及のための政策・基準・評価の策定に資する調査事業の一環として、日本の低炭素ビルの建設・改造に関連する関係機関・企業の取組みを視察することを目的に来日。賛助会員企業等との交流を通じて、日本の特徴である省エネ・環境対応と同時に快適性向上実現についても理解を深めた。

ロ) 北京首創股份有限公司（6月20日～24日）

北京首都創業集団の中核企業として環境関連（水、大気、土壌）事業を主とする

同会社は、水処理分野においては処理規模で中国第2位を誇る。また、同会社は今後は河川整備をはじめとする面源汚染対策に注力していく方針であるところ、河川浄化・総合整備の考察を目的に来日。下水処理場や水処理及び建設企業等を視察したほか、日本企業とのマッチングを行った。

ハ) 中国水ビジネス訪日団 (7月25日～8月3日)

日本の先進的な省エネ環境配慮型下水・汚泥処理分野を視察すると共に、日本企業とのビジネスベースでの協力模索を目的に、中国水処理規模最大手の北控水務投資有限公司が来日。愛知、京都、東京、横浜の関係施設を視察。東京では中国水処理市場に関するセミナーを開催、中国側より汚水・汚泥処理の現状と課題について紹介し、日本側自治体及び関連企業と交流した。

二) インターアクア (第8回国際水ソリューション展) (1月27日～29日)

対中省エネルギー・環境ビジネスニーズ発掘のため、従来より出展してきた東京国際水ソリューション展において、フォーラムの宣伝及び中国の水ビジネス市場等の紹介と相談対応を実施した (ブース対応 49社)。「中国の省エネ・水資源と市場2016年版」を作成・配布した。

(3) 新型都市化、スマート化

中国国家発展改革委員会都市小城镇改革发展中心 (CCUD) との間で締結した「スマートシティ等協力推進に関する覚書」(2015年1月調印)をベースに、2016年7月に海外エコシティプロジェクト協議会 (J-CODE) を加えた3者間で「スマートシティ交流協力」に関する覚書を締結した。本年度はその覚書に基づき、広東省深圳市で益田集団会社が手掛けている「深圳益田共和城邦プロジェクト」での日中ビジネス協力の醸成に向け、継続的な調査を行った (養老・医療等ヘルスケア分野を含む)。

(4) 中国の地域発展への協力

① 「2016年日中経済協力会議—於富山」 (11月21日～23日)

本会議は日中東北開発協会、遼寧省人民政府、吉林省人民政府、黒龍江省人民政府、内蒙古自治区人民政府との共同開催。

今次会議は、中国の中央・地方政府、日本の自治体および日中両国の企業、関連団体、研究所等から432名 (日本側207名、中国側225名)の参加を得て開催された。日本と中国東北3省1自治区の各分野における経済協力に関して、「新たな中国東北振興と日中経済協力による課題の解決」をテーマとし、全体会議および分科会 (①環境・省エネルギー、②ものづくり、③農業・農産品加工関連産業)、日中個別VIP会見を実施して議論を深めることが出来た。更に展示商談会及び企業・地域視察等の活動・交流を通じて所期の成果を収めることができた。加えて、本会議は日本の北陸地方に

おける初めての開催となり、環日本海経済圏における関係都市間の経済交流活性化にも資するものとなった。

②各省市との交流

黒龍江、吉林、遼寧、北京、天津、河北、山東、江蘇、浙江、上海、広東、安徽、湖北、四川、貴州の15省・市との間で派遣・受入による交流を行った。

黒龍江省とは、6月に派遣したビジネス交流ミッション（団長：岡本理事長）がハルビンで陸昊省長と会見した。来日した省長としては江蘇省石泰峰省長（5月）、市長級としては貴州省貴陽市徐昊副市长（4月）、山東省臨沂市林国華副市长（4月）、吉林省延辺朝鮮族自治州藍公海副州長（5月）、山東省萊蕪市王磊市長（6月）等が挙げられる。

地方政府が協力を期待する分野としては、省エネ・環境に加え、高齢化対応・ヘルスケア分野のニーズが依然根強いほか、コンテンツ、ビッグデータ、観光などソフト関連に関するものも目立った。 **【別添資料7】**

（5）中国企業との対話強化

中国の経済成長の鍵を握るものとして存在感を強めつつある企業経営者への理解を深め、日本企業とのビジネス機会拡大を図るため、代表的民営企業からなる「中国企業家倶楽部」との間で、年次総会への参加や、訪日団との個別マッチングを実施した。

①第10回中国企業家倶楽部年次総会（中国緑公司年会）（4月22日～23日）

中国企業家倶楽部の年次総会（済南）と、併催の中日二国間ビジネスフォーラムに参加し、民営企業トップや中国各地から参加した次世代のビジネスリーダーを目指す企業家との間で意見交換を行った。

②「土士（どし）学習連盟」訪日団企業交流セッション（11月30日）

土士学習連盟は、自動車、電気・電子、IT、ソフトウェア、メディア、教育、文化、農業、食品、エネルギー、環境、不動産の各分野の民営企業それぞれ1社により構成されるグループ。これら企業の経営層候補者等27名が来日研修した際、当協会のアレンジにより日本側企業20社との個別マッチングを実施した。

（6）政府関連機関・団体等への支援・協力

①日中長期貿易協議委員会

省エネ等技術交流促進部会では、11月26日の「第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」において、商務部対外貿易司との共同主催により、日中長期貿易分科会を開催し、海水淡水化や汚水汚泥処理等水循環システムにおける日中協力の可能性について交流を行った。尚、本分科会は商務部との定期交流を兼ねている。

石炭専門委員会では、12月12日に日本側石炭ユーザーと中国側サプライヤー及び政府関係者により、日中間の石炭取引に関する意見交換及び対話の場として、北京において石炭取引交流会を実施した。

②日中友好7団体の活動

日中双方の新年賀詞交歓会をはじめ、他の関係6団体（日本中国友好協会、日本国際貿易促進協会、日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、日中協会、日中友好会館）と協力し、以下の事業を実施した。

イ) 中国日本友好協会唐家璇会長一行との懇談

東京・北京フォーラムへの参加のため来日した中国日本友好協会唐家璇会長一行との夕食懇談会を9月26日晚に開催し、当協会からは國部副会長が出席した。

ロ) 横井・木寺新旧駐中国大使歓送迎会

帰国された木寺昌人元大使と新たに赴任される横井裕大使（第15代）をお迎えして、新旧駐中国大使の歓送迎会を5月13日に開催した。

3. 対中ビジネス支援事業

賛助会員企業をはじめ我が国企業の中国ビジネス展開をサポートするため、「中国制度情報調査」と共に、賛助会員向けに「中国法務相談会」（原則として毎月）を実施。中国の外資導入政策や諸制度など投資環境の変化を日常的にフォローし、個別の相談案件にも対応した。

関西本部においても、引き続き会員企業を中心として関西所在企業からの相談に対応した。

4. 人材育成・人的交流事業

(1) 中国大学生「走近日企・感受日本」訪日事業への協力

本事業は、中国の将来を担う大学生に対し、日本企業ひいては我が国への理解を深めてもらうことを目的として、北京の中国日本商会在2007年春から実施している訪日研修事業である。2012年春までの5年間で第1ラウンド計10団（約280名）の来日が実現し、引き続き第2ラウンドとして2012年秋から2015年春までの3年間で、計6団の実施が完了し、現在更に継続中。訪日学生数は第19回までの累計で約590名。現在毎年60名の大学生の訪日研修に取り組んでいる。

当協会はその受入協力機関として、平成28年度は、以下の2回の受入を実施。なお、第3ラウンドも既にその実施が決定されている。

①第18回：5月24日～5月31日 7泊8日

清華大学、中国人民大学、对外經濟貿易大学、北京第二外国語学院、中央民族大学、北京工業大学の6大学から29名。

②第19回：11月29日～12月6日 7泊8日

北京大学、北京理工大学、北京師範大学、北京語言大学、中国農業大学、国際関係学院の6大学から30名。

(2) 中国企業の訪日研修への対応

民営企業家を中心に、MBA研修の一環として学校が組織するものや、地方政府、更には企業の社員教育の一環として来日し、日本企業の経営理念、ものづくりの精神（匠の心）、品質管理・経営管理、社会貢献、長寿企業の秘訣などを学ぶことがブームとなっている。当協会でもさまざまな派遣元からあわせて7グループを受け入れ、専門家や企業トップ、技術者によるレクチャーや、本社・工場・店舗等への訪問交流を斡旋、実施した。

5. 在外事務所活動

(1) 北京事務所

日中間の各経済分野について、中央・地方政府、企業（国有、民営）、各機関との交流を促進するための連絡調整や事業協力などを実施したほか、第13次五カ年計画の初年度に当たるところから、今後の方向性の分析に努めた。

日中関係改善を背景に、中央・地方政府の幹部訪日が増加し、招聘状交付や査証取得についての協力を行った。引き続き省エネ・環境分野での経済交流や地方交流にも重点を置き、日中省エネ・環境総合フォーラム開催に向けた中国側関係機関との調整作業を行い、開催後は既存の課題を基に新たな開催方法や分野について中国側と連絡調整を行った。スマートシティ・高齢化対策等の新たな分野での日中経済協力については、セミナー開催、展示会参加など、協力の具体化に努めた。

更に各省・市・自治区の関係行政機関、大学及び中国企業、外資系企業を訪問・視察すると共に、各種フォーラムや商談会・説明会への参加を通じ、経済状況、投資環境、環境問題等に関する現地調査を行った。また、訪日団の派遣、セミナー・投資説明会の開催、特定問題に関する協議、懇談会等の交流等を通じ情報収集と関係強化を図った。

その他、北京事務所では、中国の中央・地方の政府機関、研究機関、企業等と緊密な関係の維持に努め、日常的に各種セミナーやシンポジウム等への参加など情報収集を行っており、その成果は「日中経協ジャーナル」などの媒体を通じて日中両国政府や会員企業他経済界、学術研究機関等に広く提供している。

【別添資料8】

(2) 上海事務所

上海市を中心とした中国華東地域（江蘇省、浙江省、安徽省）及び山東省、陝西省、湖北省などの周辺エリアの各省・市人民政府や経済開発区などとの交流を通じて情報収集に努めた。加えて、各地に進出した会員企業ほか日系企業への情報発信や個別案件へのアドバイス、在中国の日本人・日系企業関係者に向けた講演等を通して、企業の対中ビジネス支援を行った。

また、日本の在上海の各自治体関係者への情報発信や相談に対応したほか、中国側政府機関や企業・各種機関との交流の促進、日中間の経済・文化交流イベントの支援等、多方面における日中間の関係強化に努めた。

更に、当事務所に設置している北海道経済交流室、大分県経済交流室、石川県経済交流室と、それぞれの日本の自治体と協力しながら、様々な情報の収集・発信および中国側の各関係機関とのネットワークの構築、上海に進出した企業・邦人との交流、対中ビジネス支援、観光振興等の幅広い業務を実施した。

これらのほか、在上海市や在北京市の日系企業および関係機関が四川省をはじめとする内陸部への進出を検討する際には、当協会成都事務所と連携し、現地視察などのサポートを行ったほか、四川省駐上海事務所と協力して上海地域における内陸地域のPR活動や企業誘致支援などにも積極的に取り組んだ。 **【別添資料9】**

(3) 成都事務所

中国西部地域において最も古くから活動する海外経済団体事務所の一つとして、成都市をはじめとした四川省各都市や、重慶市など周辺省市の中国側諸機関との連携を深めつつ、我が国の企業・団体等のニーズに対応する情報収集や人的な交流支援などに努めた。

また、成都日本商工クラブの事務局としても活動し、現地進出日系企業と四川省・成都市を結ぶ役割を果たしつつあるほか、日中双方の関係者の交流プラットフォームとしても機能している。

平成28年度は5月の四川省博覧会事務局、2月の同省投資促進局等の訪日支援を行うなど、人的往来や経済交流の支援に努めた。また、各地方都市の幹部などとの交流を通して、現地の投資環境の把握や情報提供に取り組んだ。 **【別添資料10】**

(4) 瀋陽事務所

地元政府各関係部門、団体及び協会本部の支援・指導の下、個々の交流、協力を促進しつつ、「2016年日中経済協力会議―於富山」開催に向けその準備を行った。また東北3省1区で行われた様々なイベントへ積極的に参加したほか、特に、東北3省に進出した現地日系企業との交流や情報発信に力を入れた。 **【別添資料11】**

【別添資料 1】 主要事業一覧

月/日	事業名	頁	種別
【2016年】			
4/22～23	第10回中国企業家倶楽部年次総会（中国緑公司年会）	6	参加
4/25	創新都市—深圳市ロボット産業投資説明会	20	協力
4/21～22	第34回日中経済知識交流会	3	参加
5/10～15	深圳市益田集団股份有限公司訪日団	22	受入
5/12	江蘇・日本経済貿易協力セミナー	19	協力
5/13	横井・木寺新旧駐中国大使歓送迎会	7	共催
5/20	2016年春季上海—東京双方向投資説明会	19	協力
5/24	2016中国山東省第13次五カ年計画セミナー	17	協力
5/24	日中経済協会第19回理事会		
5/24	日中経済協会第11回評議員会		
5/24～5/31	第18回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日	7	受入
6/17	中国萊蕪市（東京）経済合作懇談会	17	協力
6/14～17	黒龍江省ビジネス交流ミッション	15	派遣
6/20～24	中国低炭素ビル訪日視察団	21	受入
6/20～24	北京首創股份有限公司訪日団	22	受入
7/3～6	市民社会 C20 サミット（青島）	17	派遣
7/11～14	山東省住宅都市農村建設庁訪日団	17	受入
7/25～8/3	中国水ビジネス訪日団	22	受入
7/26～30	安徽省宿州市代表団	20	受入
7/28～8/1	中国スマート化社会関連調査訪中団	23	派遣
8/1	深圳工業總會民営企業家一行との日本企業経営管理交流会	20	共催
8/5, 8/8	日中省エネルギー・環境総合フォーラムに向けた技術交流会 ①省エネルギー（北京） ②「山東・淄博日中大気汚染対策協力モデル区」環境技術交流会	22	共催
8/18～20	益田共和城邦プロジェクト現状視察	23	派遣
9/20～27	2016年度日中経済協会合同訪中代表団	13	派遣
10/19	国家発展改革委員会・東北等老工業基地振興司楊蔭凱副 司長一行来日研修	15	支援
10/20	2016日本企業投資プロジェクト商談会	16	協力

10/20	山東省商務庁・張型成副巡視員一行	18	支援
10/28～11/1	湖北省行政学院陶良虎常務副院長一行	20	受入
11/21～23	2016年日中経済協力会議－於富山	5	共催
11/26	第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム（北京）	14	共催
11/29～12/6	第19回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日	7	受入
11/30	「土土（どし）学習連盟」訪日団企業交流セッション	6	主催
12/8	河北省三河市民営企業家一行との懇談会	17	共催
12/12～13	湖北省水利庁・周漢奎副庁長一行	20	受入
12/15～24	湖北省水利・水電勘测設計研究院許明祥総工程師一行	20	受入
12/13	民政部老齡科学研究中心・党俊武副主任一行 セミナー 「中国高齡化対策の最新動向」	23	主催
【2017年】			
1/3～6	第33回中国ハルビン国際冰雪祭「寒冷地発展フォーラム」	15	参加
1/13	新年賀詞交歓会（日本国際貿易促進協会との共催）		
1/16～19	深圳益田共和城邦プロジェクト養老・医療等分野調査	23	派遣
1/20～23	黒龍江省ビジネス交流ミッション	15	派遣
1/26	2016年度関西地区会員懇談会	2	主催
1/27～29	「Inter Aqua2016（第8回国際水ソリューション総合展）」	5	出展
2/23	日中経済協会正副会長・常任理事懇談会		
2/25～3/1	四川省投資促進局胡川江副局長一行	21	受入
2/28～3/5	四川国際会展有限公司訪日団	21	受入
2/28	日中経済協会政策委員会		
3/8	山東省一日本企業交流会（東京）	18	協力
3/17～21	中国発展高層論壇 2017	3	参加
3/23	日中経済協会第22回理事会・会員懇親パーティ		

【別添資料2】 表敬等一覧

- 4月14日 中国建築材料集団宋志平董事長
- 4月15日 貴陽市人民政府徐昊副市長
- 4月20日 臨沂市人民政府林国華副市長
敦化市唐文忠書記
- 5月13日 遼寧省商務庁王力威庁長
- 5月18日 中国共産党海寧市委員会組織部沈雨祥部長

- 5月19日 上海市商務委員會桑琦副局級副巡視員
- 5月25日 唐山市曹妃甸区政府黨組織王雪增副書記
- 5月31日 延邊朝鮮族自治州人民政府藍公海副州長
瀋陽市瀋北新区張玲副區長
中国共產黨海寧市委員會組織部・沈雨祥部長
- 6月2日 日中防災減災・環境保全研究会馬貴臣會長（応用地質高級研究員）
- 6月3日 国家發展改革委員會能源研究所戴彥德副所長一行
- 6月20日 遼寧省人民對外友好協會李承志副秘書長
- 6月27日 四川博覽事務局崔志民副局長
- 7月27日 宿州市宿馬現代產業園區管理委員會張珂副主任、宿州經濟技術開發區
程万躍副主任
- 8月1日 深圳工業總會王肇文會長
- 8月30日 鹽城市亭湖区孫虹副區長
- 9月2日 上海市普陀区周敏浩區長
- 9月9日 天津市商務委員會毛勁松副主任
- 9月26日 北京市投資促進局蘇宏副局長、北京市国家稅務局張占英副局長
- 11月7日 江蘇奧新新エネルギー自動車史踐總經理
- 11月14日 中科創國際 M&A センター朴雪峰總經理
（中国環境經濟協會農業循環經濟・生態修復專門委員會副主任兼務）
- 12月6日 中国國際貿易促進委員會大連市分会崔鐵會長
- 12月8日 河北省三河市百人教育プログラム訪日団
北京科学学研究センター張士運主任
- 12月9日 山東省商務庁閻兆万巡視員
- 12月16日 中国國際貿易促進委員會淄博市委員會毛中強會長
- 12月19日 上海國際リゾート管理委員會周先強副巡視員
- 12月20日 青島市商務局王志剛副局長

<2017年>

- 1月6日 中国金融博物館（集團）王巍理事長
（中国併購公會創始會長、万盟併購集團董事長）
- 1月11日 中節能水務發展有限公司黃濤副總經理
- 1月19日 山東省商務庁呂偉副庁長
- 2月28日 四川省投資促進局胡川江副局長
- 3月1日 四川國際会展有限公司胡方西財務總監
- 3月6日 遼寧省葫蘆島市王力威市長
- 3月9日 青島市商務局馬衛剛局長
- 3月23日 広西國際博覽事務局綜合協調處曾忠處長・中国—ASEAN 博覽會秘書處副秘

【別添資料3】 21世紀日中関係展望委員会第13回提言書

「不断の改革とグローバル協力の新展開

—日中関係の深さと拡がりを目指して—

はじめに

1. 中国経済安定成長持続への期待

—構造改革の実行とマクロ経済安定の調和を求めて

2. 新次元の日中産業協力

3. 日中双方のビジネス環境改善

4. グローバル協力の新展開

おわりに

【別添資料4】 日中経協ジャーナル 各号特集テーマ

4月号 No. 267号 中国経済動向データ分析

5月号 No. 268号 ①2016年全人代分析—13・5計画解説

②創新と改革のフロンティア・深圳

6月号 No. 269号 対中直接投資・ビジネス環境と関連改革動向

7月号 No. 270号 中国経済「新常态」の展望

8月号 No. 271号 中国国有企業改革の実相

9月号 No. 272号 中国における産業の高度化と次世代バリューチェーン構築

10月号 No. 273号 ①中国東北の新常态と環日本海経済交流

②新型都市化とスマート化社会の行方

11月号 No. 274号 新次元の日中産業協力とビジネス環境の更なる改善

(日中経済協会合同訪中代表団抄録)

12月号 No. 275号 中国の大衆創業・万衆創新と日中ビジネス協力の可能性

[2017年]

1月号 No. 276号 一帯一路戦略と中国企業の対外・対日投資

2月号 No. 277号 第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム

3月号 No. 278号 東アジア経済連携

【別添資料5】 「2016年日中経済協会合同訪中代表団」の派遣 (9月20日～27日)

第42回目となる今次訪中団は、宗岡正二会長を団長に、榊原定征名誉会長（日本経済団体連合会会長）、三村明夫顧問（日本商工会議所会頭）を最高顧問とする合同訪中団として派遣し、副団長22名、会員企業、同行記者等総勢230名、前回と同じく過去最大の陣容となった。中国国際貿易促進委員会姜増偉会長の受入の下、張高麗国务院常務副総理との会見、商務部（高燕副部長）、国家発展改革委員会（寧吉喆副主任）、工業信息化

部（劉利華副部長）との全体会議に加え、「未来に向けた日中企業協力：革新と包摂性」を主題として日中企業家対話を実施。「世界に貢献する日中経済関係」、「イノベーションと日中起業協力」、「100年後も存続するための企業経営戦略」の3つのセッションと総括セッションを行った。

張高麗副総理との会見では、良好な政治・外交関係が日中経済関係発展の基礎であるとの日本側見解に対し、張副総理から全面的な賛意の表明があった。また、マクロ経済及び構造改革について中国側は、安定的な金融政策及び積極的な財政政策により今年6.7%成長への自信を表明。日本側の「新次元の日中産業協力」の提案についても、中国の「需要構造高度化」（高品質、環境、健康・医療、観光、文化等）への対応協力や、「第4次産業革命」（IoT、ビッグデータ、AI等の活用）への対応協力など積極的な反応があった。

宗岡会長から張高麗副総理に「日中経済協会 21世紀日中関係展望委員会第13回提言書」を手渡したほか、商務部との全体会議では、会員企業へのアンケート結果を集約した「中国ビジネス環境に関する改善要望事項」を提出した。

北京での活動後、志賀俊之副会長（日産自動車副会長）を団長に約40名が湖北省を訪問し、武漢にて王晓東代理省長と会見、省政府との経済交流会議を開催し、武漢新日鐵（武漢）ブリキ有限公司を視察した。また、これに先立ち襄陽市を訪問し、虞国旗副書記と会見、東風日産乗用車公司や湖北自由貿易試験区（襄陽分区）を訪問した。

【別添資料6】 第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム（11月26日）

経済産業省、国家発展改革委員会、商務部との共催で、2016年11月26日、北京にて「第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」を開催した。

全体会議には、日本側は、世耕弘成経済産業大臣、日中経済協会宗岡正二会長、中国側は、国家発展改革委員会徐紹史主任、同委員会張勇副主任、商務部高燕副部長はじめ、両国政府・企業・団体・専門家等、官民関係者合わせて約800名（日本側約300名、中国側約500名）が参加、4年ぶりに両国主催者トップ揃っての出席が実現した。また、28件の新規協力プロジェクトがこの場で披露された（10回までの累計件数313件）。

今回、世耕大臣と徐紹史主任は、経済産業省と国家発展改革委員会による「省エネルギー・環境分野における日中協力の更なる深化を図るための覚書」に署名。覚書には、本フォーラムの継続開催、企業・研究機関の更なる協力の推進、グリーン発展人材の育成強化などの内容が含まれる。なお、協会はその日本側実施窓口に指定された。

全体会議に先立ち午前中に行われた分科会では、都市緑色管理（スマートシティ）、省エネサービス産業、循環経済、新エネ車・自動車知能化、クリーンコール技術・石炭火力発電、日中長期貿易（節水、海水淡水化、汚水・汚泥処理）の6テーマに分かれて日中双方の政府・企業・専門家がプレゼンテーションを行い、交流を実施。さらにクリーンコール技術・石炭火力発電分科会と日中長期貿易分科会は石炭火力発電所や水処理施設などの視察を実施した。

会場入口にはパネル展示のスペースを設け、12社（日本側5社、中国側7社）がブースを出展、省エネ・環境技術を直接紹介する場とした。

【別添資料7】各省市他との主要交流状況

（ゴシック文字：日中経済協会が覚書を締結している地方）

地域		月日	概要
東北	東北 各省他	10/19	10月16日～29日、国家発展改革委員会東北等老工業基地振興司の楊蔭凱副司長ほか、同委員会、黒龍江、吉林、山西、河南各省の発展改革委員会、国家開発銀行、中国科学院等の旧工業基地振興政策に係わる関係者が研修来日。中国国務院が4月に発表した新たな東北地区等振興政策を契機に、我が国の構造転換の経験に学ぶことが打ち出されたことが背景。当協会は同委の依頼により、経済産業省、日本鉄鋼連盟、近畿経済産業局、大阪商工会議所等との交流を支援、また岡本理事長より一行に対し我が国の政策経験について説明を行った
	黒龍江	6/14-17	中国日本商会と共に「黒龍江省ビジネス交流ミッション」（团长：岡本理事長、約60名）をハルビンに派遣。陸昊省長と会見、宋希斌ハルビン市長はじめ同市幹部との座談会を実施。岡本理事長は省社会科学院主催の「一帯一路建設と黒龍江省全面振興ハイレベルフォーラム」に出席し講演
		1/3-6	ハルビン市で開催された第33回中国ハルビン国際氷雪祭開幕式に合わせて「寒冷地発展フォーラム」が開催された。ハルビン市人民政府外事僑務弁公室より招聘を受け、調査部長が出席すると共に、「中国東北振興と日中経済協力」をテーマに発言し、東北地域での日中産業協力の可能性を紹介した
		1/20-23	中国日本商会と共に「黒龍江省ビジネス交流ミッション」（团长：中国日本商会上田明裕副会長）を派遣。黒龍江省商務庁王居堂副庁長と会見、黒河市では孫恒義副市長と会見。ハルビン市では「黒龍江省－日本企業経済貿易協力交流会」を開催。交流会には黒龍江省企業120名、日本側企業15社26名が参加、6分野に分かれてビジネス交流を実施

東北	吉林	4/20	敦化市唐文忠書記を団長とする一行が当協会を訪問、投資環境等を紹介し、日本企業誘致をめぐり交流した。敦化市ハルバ嶺地区には中国遺棄化学兵器の大半が埋設されており、日本政府は遺棄化学兵器の廃棄処理に取り組んでいる
		5/31	延辺朝鮮族自治州人民政府藍公海副州長を団長とする一行が当協会を訪問。当協会との経済貿易協力強化のほか、「2016 第 11 回中国延吉・図們江地域国際投資貿易博覧会」について紹介した
	遼寧	12/6	中国国際貿易促進委員会大連市分会崔鐵会長一行 7 名が当協会を訪問。2017 年、大連市分会は中国国際貿易促進委員会内に発足した「中国－日本ビジネス理事会」の事務局を受託し、大連市に限らず全中国での日中ビジネス交流促進へ向けた諸活動展開の予定であることから、引き続き当協会への協力要請があった
沿海部	北京	9/26	北京市投資促進局蘇宏副局長、北京市国家税務局張占英副局長ら北京市幹部が当協会を訪問。北京市として、金融、医療介護、インターネットはじめ先端分野での投資を日本に期待していることを紹介。また、高齢化の進む北京では利便性の高い生鮮食品中心の中小スーパーのニーズが高く、日本の業界の進出に大きな期待を寄せていると表明。地域に密着している都内中堅スーパーを訪問し、商店街、地域とのかかわりを見学
		10/20	北京市投資促進局訪日団（団長：于燕副局長）を受け入れ、「2016 日本企業投資プロジェクト商談会」を東京で開催。商談会では①京津冀協同発展戦略下の投資環境、②最先端プロジェクト誘致のための産業方向と分野、③外資企業の登録管理政策等について紹介
		12/8	北京科学学術研究センター張士運主任を団長とする一行が当協会を訪問。今後の日中科学技術協力の方向性、日中技術移転やインキュベーター協力などの分野での交流について意見交換を行った
	天津	9/9	天津市商務委員会毛勁松副主任、津南経済開発区管理委員会杜全勝主任、常州浩達科技倪備董事長ら天津市訪日団一行が当協会を訪問。着実な内外資誘致を進める天津の状況と、津南開発区の状況について紹介を受けた

沿海部	河北	5/23-29	唐山市曹妃甸区政府党组王雪增副书记を团长とする一行が当協会を訪問。曹妃甸工業区の中日韓循環経済示範基地について紹介し、日本企業誘致について協力を要請した
		12/8	日中投資促進機構の受入で来日した河北省三河市の民営企業家を中心とする一行 30 名が来訪、協会と共同で懇談会を開催。トヨタ自動車の金型技術者による匠の技の承継など、我が国の「ものづくり力」の源泉について紹介。北京の都市化、京津冀一体化のなかで、通州区の東に隣接する同市は内外から注目されている
	山東	4/20	山東省臨沂市訪日団（团长：林国華副市长）が臨沂市の最新状況の紹介、および今後当協会との協力深化に向けた意見交換のために当協会を訪問。臨沂市は山東省において人口・面積共に最大の都市であり、商業・物流・文化・観光資源が豊富。今回の来日では、日本との貨物便の航路開設に向け、関連企業を訪問したもの
		5/24	山東省商務庁孫建波副庁長一行が来日し、「2016 中国山東省第 13 次五カ年計画セミナー」を東京で開催した
		6/17	山東省萊蕪市王磊市長一行を受け入れ、東京で「中国萊蕪市（東京）経済合作懇談会」を開催。日本企業との協力プロジェクト 7 件を調印、日本企業と積極的に協力していく意向が示された
		7/3-6	9 月に杭州で開催される G20 に先駆けて、民間・社会団体の意見を集約する「市民社会 C20 サミット」が青島で開催され、中国共産党中央連絡部の招請を受けて、杉田定大専務理事が出席。グリーンデベロップメント分科会にて、日本の経験を踏まえエネルギーや公害問題への取組みによりイノベーションが進んだことなどを紹介した。また、王磊市長の招聘を受けて、萊蕪市を視察した
		7/11-14	山東省住宅都市農村建設庁訪日団（团长：山東省住建庁盧曉棟副巡視員、省内 13 県・区のトップが参加）を受入。一行は郭樹清山東省長の指示に基づき、新型都市化の重点諸課題の先進事例を視察し、今後各県・区の計画推進に活用する予定

沿海部	山東	10/20	山東省商務庁張型成副巡視員を団長とし、済南市商務局並びに同省各地の企業関係者からなる一行12名が、日本の高齢化社会対応状況を視察する目的で来日。地域密着型で、きめ細かいサービスを行うデイサービスセンターを視察。また、僻地の在宅高齢者を見守り、遠隔診療支援を行う生体センサーシステムを開発した企業を訪問し、ICTネットワークを通じた「医・養結合」コンセプトの紹介を受けると共に、システムのデモンストレーションの見学も行った
		12/9	山東省商務庁閻兆万巡視員を団長に、済南・臨港、青島・即墨、棗荘・薛城の各経済開発区の責任者と、これら開発区に立地するカーボンブラック、医療機器企業の責任者をメンバーとする訪日団が当協会を訪問。日本の中小企業誘致のために来日したもので、山東省の新エネルギー自動車集積等について紹介した
		12/13-18	中国国際貿易促進委員会淄博市委員会毛中強会長を団長に、淄博市商務局、開発区と有力企業4社トップからなるビジネス交流団が来日。大阪商工会議所、近畿経済産業局（Team E-Kansai）とのマッチング、ヘルスケア、医薬、金型工作機械、VOC対策設備等の交流を行った。16日に当協会を訪問し、「山東・淄博日中大気汚染対策総合モデル区」について意見交換した
		12/20	青島市商務局王志剛副局長を団長とする一行が当協会を訪問。青島市はグローバル化都市戦略を推進するために、「青島市グローバル化都市戦略国際交流協力基金会（財団）」を設立することを計画。日本のグローバル化推進の経験、青島と日本の経済貿易往来の促進について意見交換した
		1/19	山東省商務庁呂偉副庁長を団長とする一行が当協会を訪問。3月に開催される第19回大阪輸出展示会についての紹介と協力要請があった
		3/8	山東省商務庁主催の「山東省—日本企業交流会（東京）」の開催に協力。日本側は約200名の関係者が出席。余建明商務庁長が基調講演で同省経済発展の現状を紹介、「機会山東」（多くのチャンスがある山東）をPRした
		3/9	青島市商務局馬衛剛局長を団長とする一行が当協会を訪問。青島市が進める「青島欧亜経貿合作産業園」について紹介、物流関係の会員企業と交流した

沿海部	江蘇	5/12	江蘇省人民政府石泰峰省長を団長とする江蘇省経済友好代表団一行が来日、当協会は東京での「江蘇・日本経済貿易協力セミナー」開催に協力した。江蘇省は、インテリジェント製造、電子情報、新エネルギーや省エネ、環境保護、コンテンツ及び医療サービス、金融サービス、ビジネスサービス等の分野における双方向の投資を全面的に進め、日本との経済交流を強化することを提案
		8/30	塩城市亭湖区孫虹副区長を団長とする一行4名が当協会を訪問。一行は同区への投資誘致活動のため、韓国訪問に続いて日本を訪れたもので、孫副区長からは、当協会を通じて多くの日本企業を誘致したい旨、熱い期待が述べられた
		11/7	江蘇奥新新エネルギー自動車の史踐総経理が来会。同社が研究・開発中のEV車の現状、特に自主イノベーションした高エネルギー密度の三元リチウムポリマーバッテリーとそのシステムの組み合わせにより、247wh/kgの出力が実現できたことの紹介がなされた
	上海	5/20	上海市商務委員会桑琦副局級副巡視員一行を受け入れ、東京で「2016年春季上海－東京双方向投資説明会」を開催。上海の対外投資状況や投資環境、中国（上海）自由貿易試験区のビジネス事例についての紹介があった
			9/2
		12/19	上海国際リゾート管理委員会周先強副巡視員を団長とする一行を受入。同管理委員会は上海ディズニーリゾートを所管している。日本では、観光分野の政府機関や企業を訪問し、観光関連サービス、来場者・観光客管理、緊急時対応等における先進的な方法や経験について交流、調査を行った
	浙江	5/31	浙江省海寧市から共産党海寧市委員会組織部沈雨祥部長以下、市政府人力資源・社会保障局、経済開発区、高新技术園区の関係者一行が来訪。杭州市の東に隣接する好立地に最近内外資本が注目し、発展が進んでいる中、日本企業にも多く着目してほしい旨PRがあった

沿海部	広東	4/25	深圳市投資推广署主催の「創新都市—深圳市ロボット産業投資説明会」の開催に協力（東京）。張非夢同署弁公室主任は、基調講演で「深圳市ロボット、ウェアラブルデバイス、スマートデバイス産業発展計画」を重点的に紹介。同計画では14年から20年まで、産業育成のために毎年5億元の政府投資を行い、2,000億元超の産業規模に押し上げることが目標
		8/1	深圳工業総会王肇文会長を団長とする民営企業家一行が当協会および日中投資促進機構の受入により来日。日本企業の経営・管理と匠文化につき専門家と交流したほか、更に日本企業との双方向ビジネス展開を念頭に、中京・関西企業を訪問・視察した
中部	安徽	7/26-30	安徽省北東部の中堅都市、宿州市代表団を受入。岡本理事長より我が国の供給側改革の歩みを紹介したほか、2015年末に続き府中市を訪問。高野市長を表敬し、相互に市勢の説明・交流を行った。また府中市での工場立地、環境対策等の理解のため、東京都北多摩1号水再生センター、サントリー武蔵野ビール工場、郷土の森公園を訪問した。なお、団長の周勇副市長は直前省政府要職への転出のため、宿馬現代産業園区張珂副主任以下の訪問となった
	湖北	10/28-11/1	湖北省行政学院陶良虎常務副院長を団長とする訪日団を受入。日本のグリーン発展、リサイクル経済等の分野における発展モデルとその経験を学ぶことを目的として、流通企業等を訪問した
		12/12-13	湖北省水利庁周漢奎副庁長一行を受入。静岡県庁農地局の協力のもと、世界灌漑施設遺産に登録された源兵衛川の環境保全と市民参加のまちづくりの取組み（NPOグラウンドワーク三島）、静岡県西部の農地・水利事業（西部農林事務所、浜名湖北部用水土地改良区）を視察
		12/15-24	都市の水利インフラ計画・設計の最適化に「海綿都市」の実践を結び付けることを目的に、日本の経験・実例を参考とすべく、湖北省水利・水電勘測設計研究院の許明祥総エンジニアをはじめとする同院技術者等16名の訪日団を受入。雨水貯留浸透技術協会、東京都建設局（神田川・環七地下調節池）、国土交通省水管理・国土保全局、同関東地方整備局江戸川河川事務所（首都圏外郭放水路）、大阪府西大阪治水事務所（津波・高潮ステーション）、同寝屋川水系改修工営所等の専門家と日本の政策、対策と実例につき交流・現場視察を実施

西部	四川	2/25-3/1	四川省投資促進局胡川江副局長を団長とする訪日団を受入。一行は、四川省に投資している日本企業、特に自動車関連企業を訪問し、今後の中国市場に対する考え方を理解すると共に、投資の拡大や研究開発拠点の新設などを促すことが狙い
		2/28-3/5	四川国際会展有限公司訪日団（団長：胡方西財務總監）を受入。9月開催予定の「2017西部国際博覧会輸出入商品展」、11月「四川国際農業博覧会」等について展覧プランの紹介がなされたほか、日本企業出展についての協力要請がなされた
	貴州	4/15	貴州省貴陽市徐昊副市長一行が当協会を訪問。投資環境を紹介すると共に、今後はビッグデータ、ヘルスケア、観光等の分野の取組みを強化していく意向が表明された
	広西	3/23	「中国－ASEAN博覧会」事務局一行（団長：広西国際博覧事務局総合協調処曾忠処長、中国－ASEAN博覧会秘書処副秘書長兼総合協調部部長）が来会、2017年9月に予定される第14回中国・アセアン博覧会についての紹介、日本企業誘致に向けての協力要請がなされた
分野		月日	概要
省 エ ネ 環 境	建築 材料	4/11-15	中国建築材料集団宋志平董事長一行が来日。岡本理事長との間で、日中建築材料交流（85～90年代半ば）による日本企業進出の成果や中国建築市場と供給能力（過剰能力淘汰課題の有無）、第13次五カ年計画の重点、環境対策、新たな日中合作の可能性等について交流した
	クリーン 化・効率 化	6/3	国家發展改革委員会能源研究所戴彦徳副所長一行が来日、生田専務理事と懇談した。第13次五カ年計画の一連の関連計画策定にあたり、日本の経験を参考とするために来日。中国の大きな課題はクリーン化と効率化との見解を述べた
	低炭素 ビル	6/20-24	国家環境保護部機関服務局、清華大学建築学院、天津大学環境工程学院のメンバーからなる中国低炭素ビル訪日視察団一行6名（団長：路斌国家環境保護部機関服務センター副局長）を受入。日本の評価システム（CASBEE）に基づいたオフィスビルの環境保護・低炭素の評価手法や関連する技術に加え、民間企業による低炭素ビル設計の理念、実際の運用状況等に関する研究・視察を行った

省 エ ネ 環 境	汚水処理	6/20-24	北控集団と並び中国水ビジネスの雄である北京首創股份有限公司(団長:郭鵬副総経理、一行5名)が日本の河川浄化・総合整備の視察を目的に来日。下水処理場や水処理及び建設企業等を訪問し交流を図った。中国が今後、下水処理場建設など点源汚染対策から河川整備をはじめとする面源汚染対策に注力していく流れの一環
	汚水・ 汚泥処理	7/25-8/3	日本の先進的な省エネ環境配慮型下水・汚泥処理施設を視察し、日本企業とのビジネスベースでの協力模索を目的に、中国最大の水メジャー北控水務投資有限公司李力執行総裁を団長とする中国水ビジネス訪日団15名を受入。一行は、愛知、京都、東京、横浜を訪問し、自治体および関連企業関係者と活発な意見交換を行った。また、セミナーでは日本側約70名参加のもと、中国の汚水・汚泥処理の現状と課題について発表を行った
	技術交流	8/5、8/8	8月5日と8日にそれぞれ北京と山東省淄博市で「第10回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」に向けた「省エネルギー・環境技術交流会」を開催。日中協力プロジェクトの形成・促進を図るための日中企業間のビジネスマッチングを主目的とし、省エネ技術交流会は北京で、環境技術交流会は淄博市で実施され、日中合わせて約140社の関連企業・団体の参加を得てマッチング交流を実施
	産業協力	11/14	中国環境経済協会農業循環経済・生態修復専門委員会副主任を兼務する中科創国際M&Aセンターの朴雪峰総経理ほか2名が当協会を訪問。今後の情報資源の共有並びに日中間産業技術マッチングプラットフォームの構築について、相互協力の可能性について議論を行った
	汚泥処理	1/11	中節能水務発展有限公司黄涛副総経理が中国市政工程中南設計研究総院副院長らと共に来日、当協会を訪問。深圳市での汚泥炭化プラント導入に向けた日本側サプライヤーとの技術交流、実機稼働状況の視察のために来日したもの
新型 都市化 (養老・ヘル スケアを含む)		5/10-15	2015年1月に中国(国家発展改革委員会)都市小城鎮發展改革中心(CCUD)との間で締結した「中国のスマートシティ等新型都市化に向けた日中間の交流・協力を推進する覚書」に基づき、CCUDが優良プロジェクトとして推薦する深圳市益田集团股份有限公司の訪日団の受入を行った。一行は「柏の葉」をはじめとする日本のスマートシティ建設の先行事例を視察すると共に、日本の関連機関・企業との交流を行った

新型 都市化 (養老・ヘル スケアを含 む)	7/28-8/1	CCUD 及びスマートシティ発展連盟が「第 2 回中国スマートシティ国際博覧会」を開催、それに合わせ「中国スマート化社会関連調査訪中団」を派遣。同博覧会には、13・5 計画の理念（創新、協調、緑色、開放、共享）をテーマに、都市におけるコミュニティ、医療・介護、金融、交通、エネルギー、セキュリティ等のスマート化に関連する国内外の約 100 機関が出展。日本からは、三井不動産が「柏の葉スマートシティ」ブースを出展、柏市・秋山浩保市長が講演したほか、「Society5.0」を念頭に、中国側関係者との更なる交流や情報収集を進め、中国のスマート化社会に係る今後の日中協力の方向を探った。また、当協会、海外エコシティプロジェクト協議会（J-CODE）、CCUD の 3 者による「スマートシティ交流協力」に関する覚書を締結
	8/18-20	7月締結の「スマートシティ交流協力」に関する覚書に基づき、広東省深圳市坪山新区の「益田共和城邦プロジェクト」の現状を視察。日本企業の同プロジェクトでのビジネス参入可能性について調査を行い、中国側の対日協力意欲を確認、ニーズを把握した
	11/18-20	国際協力機構（JICA）からの要請を受け、2016 年から 4 年間実施する技術協力プロジェクト「日中高齢化対策戦略技術プロジェクト」の中国国内研修セミナーに十川理事が参加し、講演を行った。講演では、高齢化社会への日本の取組みを紹介すると共に、人材養成等課題解決システム構築など、プロジェクト実現に向けた提言を行った
	12/13	中国での養老・介護分野での日中協力の可能性が高まる中、中国老齡科学研究中心党俊武副主任を団長とする訪日団が来日。厚生労働省や経済産業省等の政府機関、関連業界団体等との交流を行うと共に、介護施設や介護用具関連企業等を訪問し、12/13 には当協会において「中国高齢化対策の最新動向」をテーマに会員セミナーを開催した。
	1/16-19	「中国スマート化社会関連調査」の継続事業として、「深圳益田共和城邦プロジェクト」における養老・医療等の分野での日中ビジネスアライアンスの可能性をフォローし、その実現推進を目的に調査を実施した。

【別添資料8】北京事務所

①経済・貿易関係

<当協会の各種事業関連の下、以下諸活動に参加>

- ・ 第10回中国（河南）国際投資貿易商談会〔鄭州〕（4月7～8日）
- ・ 第10回大中物産杯日本語弁論大会〔北京〕（4月9日）
- ・ 2016石化産業発展大会〔石油エネルギー技術交流室：北京〕（4月12日）
- ・ Enjoy Nippon!～full of your favorites～〔札幌経済交流室：北京〕（4月15日）
- ・ 駐京中外知名企業投資大同行〔大同〕（4月17～19日）
- ・ 海外電力調査会・相澤善吾会長訪中〔電力室：北京〕（4月17～20日）
- ・ 2016中国緑公司年会〔済南〕（4月22～24日）
- ・ 東亜ディーケーケー・北京牡丹聯友技術合作調印式〔北京〕（4月23日）
- ・ 全日本空輸武漢－東京成田線就航式典〔武漢〕（4月29日）
- ・ 投資日韓国家訓練及び双方向投資説明会〔威海〕（5月10～11日）
- ・ 2016シルクロード国際博覧会〔西安〕（5月12～14日）
- ・ 第5回世界商工リーダー大会〔昆山〕（5月19日）
- ・ JVISIT JAPAN 中日観光商談会〔札幌経済交流室：北京〕（5月19日）
- ・ Canon EXPO 2016〔上海〕（5月19～22日）
- ・ 2016北京国際旅遊博覧会〔札幌経済交流室：北京〕（5月20～21日）
- ・ 2016年度第1回 JCOAL/CEC 日中共同委員会準備会合〔西安〕（5月21日）
- ・ 浙江省諸暨市視察ミッション〔諸暨〕（5月22～24日）
- ・ 中日観光大連ハイレベルフォーラム〔札幌経済交流室：北京〕（5月23～24日）
- ・ 中国国際経済交流中心「開放型経済新体制構築」座談会〔北京〕（5月24日）
- ・ 第18回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日団〔東京他〕（5月24～31日）
- ・ 広西と世界同行～中外工商界座談会〔北京〕（5月27日）
- ・ 第4回中国（北京）国際服務貿易交易会サミット〔北京〕（5月28日）
- ・ 駐京中外知名企業投資順義行〔北京〕（5月31日）
- ・ 中日節能環保技術交流研討会（in 中国（北京）国際服務貿易交易会）〔北京〕
（6月1日）
- ・ 北京総部企業協会との「総部経済国際協力共通認識」覚書締結〔北京〕（6月1日）
- ・ 2016安慶（北京）世界名企合作懇談会〔北京〕（6月1日）
- ・ APEC 城鎮化高層論壇 2016〔寧波〕（6月2～3日）
- ・ 常州市金壇区視察出張〔常州〕（6月3～4日）
- ・ 日中友好環境保全センター設立20周年式典〔北京〕（6月7日）
- ・ 国際クリーン技術・融資サミット及び環境保護技術国際ビジネスマッチングプラットフォームフォーラム（3iPET）第1回年次総会〔北京〕（6月7日）
- ・ 第2回ユネスコ創造都市北京サミット〔札幌経済交流室：北京〕（6月6～8日）
- ・ 中国国際電子商務中心交流会〔北京〕（6月13日）

- ・ 2016 瀋陽 ICT 産業交流会〔札幌経済交流室：瀋陽〕（6月14～16日）
- ・ 黒龍江省ビジネス交流ミッション〔ハルビン・牡丹江〕（6月14～17日）
- ・ 2016 中日韓経済貿易交流会〔長春〕（6月20～23日）
- ・ 第3回中日健康養老産業サロン〔北京〕（6月25日）
- ・ 第22回蘭州貿易投資商談会〔蘭州〕（7月7～10日）
- ・ 第9回日中韓石油技術会議〔石油エネルギー技術交流室：韓国釜山〕（7月11～14日）
- ・ 中国貿促会扶貧項目招商対接会〔凱里〕（7月14～16日）
- ・ 第2回中国スマートシティ国際博覧会〔北京〕（7月29～31日）
- ・ 第21回全国日本人交流会〔北京〕（7月29～31日）
- ・ 2016年上半期全国石油・石油化学産業経済運営分析会
〔石油エネルギー技術交流室：長沙〕（8月3～4日）
- ・ 第10回日中省エネ・環境総合フォーラム第1回実務者会合〔北京〕（8月4日）
- ・ 第10回日中省エネ・環境総合フォーラムに向けた中日緑色発展 省エネ技術交流会
〔北京〕（8月5日）
- ・ 海外電力調査会相澤善吾会長訪中〔電力室：天津・北京〕（8月7～9日）
- ・ 第10回日中省エネ・環境総合フォーラムに向けた中日緑色発展 環境技術交流会
〔淄博〕（8月8日）
- ・ 杉田定大専務理事の東北地域巡回出張〔ハルビン・長春・瀋陽・フフホト〕
（8月7～12日）
- ・ 第15回長春農業博覧会〔札幌経済交流室：長春〕（8月11～13日）
- ・ 国際経済合作パートナー都市 青島円卓会議〔札幌経済交流室：青島〕
（8月24～26日）
- ・ 北海道深度観光及び北海道新幹線説明会〔札幌経済交流室：上海〕（8月24～26日）
- ・ 広汽三菱汽車有限公司アウトランダーラインオフ式〔長沙〕（8月26日）
- ・ 中国日本友好協会「緑の地球ネットワーク副代表高見邦雄先生
『中日友好使者』称号授与式」〔北京〕（8月31日）
- ・ 暮らしのリサーチセンター・地球環境問題に関する日中間交流会〔北京〕（9月6日）
- ・ 北海道日中経済友好協会第14回経済視察研修団〔札幌経済交流室：北京・青島〕
（9月7～12日）
- ・ 第11回アジアブランドの祭典〔北京〕（9月8～9日）
- ・ 広東国際旅遊産業博覧会 CITIE2016〔札幌経済交流室：広州〕（9月8～11日）
- ・ 世界旅游城市联合会 WTCF2016〔札幌経済交流室：重慶〕（9月18～22日）
- ・ 原子力ハイレベル訪中ミッション〔電力室：三門・秦山〕（9月19～23日）
- ・ 北京市投資促進局訪日団〔東京〕（9月24～29日）
- ・ 2016年度（第42回）日中経済協会合同訪中代表団〔北京・湖北〕（9月20～24日）
- ・ 北海道食品展〔札幌経済交流室：北京〕（9月24～10月24日）

- ・世界 500 強企業走進吉林〔長春〕(9 月 28～29 日)
- ・中国農工紅軍長征勝利 80 周年記念展覧会〔北京〕(10 月 10 日)
- ・中国国際省エネ・環境保護自動車展覧会〔北京〕(10 月 13～16 日)
- ・北京市投資促進局訪日団〔東京・福岡〕(10 月 19～24 日)
- ・中国アジア経済発展協会設立記念式典〔北京〕(10 月 20 日)
- ・杭州文化創意産業博覧会〔札幌経済交流室：杭州〕(10 月 20～24 日)
- ・中国知財戦略研究会一行訪中〔北京〕(10 月 31 日～11 月 4 日)
- ・中国国際工業博覧会〔札幌経済交流室：上海〕(11 月 1 日～11 月 5 日)
- ・第 2 回日中企業家及び元政府高官対話〔北京〕(11 月 1～2 日)
- ・華能華北分公司王力軍同公司総経理一行勿来 IGCC プラント視察〔電力室：いわき〕
(11 月 4 日)
- ・中国国際友好都市大会〔札幌経済交流室：重慶〕(11 月 9～11 日)
- ・海外電力調査会平成 28 年度原子力自主交流訪中団〔電力室：浙江〕
(11 月 14～17 日)
- ・第 5 回中国国際石油貿易大会〔石油エネルギー技術交流室：上海〕(11 月 16～18 日)
- ・北京・世界食品展覧会〔札幌経済交流室：北京〕(11 月 16～18 日)
- ・2016 年日中経済協力会議－於富山〔富山〕(11 月 19～23 日)
- ・在中国日本国大使館天皇誕生日祝賀レセプション〔札幌経済交流室：北京〕
(11 月 22 日)
- ・第 10 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム〔北京〕(11 月 26 日)
- ・土士学習連盟訪日団〔東京〕(11 月 28 日～12 月 2 日)
- ・第 19 回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日団〔東京他〕(11 月 29～12 月 6 日)
- ・海外電力調査会平成 28 年度海外事務所長会議および会員向け現地情勢報告セミナー〔電力室：東京〕(12 月 1～2 日)
- ・北京科学学研究中心訪日団〔東京〕(12 月 6～10 日)
- ・中国石油市場 2017：地方製油所の発展と将来見通しの変革
〔石油エネルギー技術交流室：北京〕(12 月 7 日)
- ・石炭取引交流会〔北京〕(12 月 12 日)
- ・ベンチャー起業家交流出張〔上海〕(12 月 13～14 日)
- ・中国老齡科研中心訪日団〔東京・大阪〕(12 月 12～16 日)
- ・河北省滄州市視察ミッション〔滄州〕(12 月 15～16 日)
- ・曹妃甸視察ミッション〔唐山〕(1 月 10～11 日)
- ・黒龍江省ビジネス交流ミッション〔黒河・ハルビン〕(1 月 20～23 日)
- ・杉田定大専務理事の次年度事業等打合せ訪中〔北京〕(2 月 8～11 日)
- ・石油エネルギー技術センター・中野賢行専務理事訪中(平成 28 年度石油精製環境分析・情報提供事業(海外主要国石油精製技術分析調査))〔石油エネルギー技術交流室：北京・上海〕(2 月 13～17 日)

- ・海外電力調査会中国原子力動向調査団受け入れ・同行〔電力室：北京・深圳〕
(2月23～3月3日)
- ・地域の魅力海外発信支援事業「東瀛匠心」〔札幌経済交流室：北京〕(2月25～26日)
- ・第11回日中省エネルギー・環境総合フォーラム事前協議及び山東省日中大気汚染改善協力モデル区等打合せ訪中〔北京・済南・淄博〕(2月26～3月2日)
- ・北海道銀行研修団〔札幌経済交流室：北京〕(3月6～8日)
- ・大連日本人学校小学6年の理科授業への協力(「大連に適した発電方法」発表に対する審査と講話)〔電力室：大連〕(3月7日)
- ・北海道日中経済友好協会訪中団〔札幌経済交流室：ハルビン・瀋陽〕
(3月11～14日)
- ・中国発展高層論壇〔北京〕(3月18～20日)
- ・北海道・静岡ファームトリップ〔札幌経済交流室：札幌・静岡〕(3月24～29日)
- ・杉田定大専務理事の広東省訪問〔深圳・広州〕(3月26～29日)
- ・第11回中国(河南)国際投資貿易商談会〔鄭州〕(3月28～29日)
- ・重慶市訪問ミッション〔重慶〕(3月30～4月1日)

<関係諸団体・組織・研究機関・大学への事業協力>

日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本貿易振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構、海外電力調査会、石油エネルギー技術センター、日中投資促進機構、日中東北開発協会、JICA、中国日本商会、政策研究大学院大学、法政大学等の訪中、調査等の事業への協力。

<地方自治体、団体等への事業協力>

札幌市、北海道、新潟県、北九州市、鹿児島県等の訪中、調査・宣伝等の活動への協力。

<中国側関係諸機関への事業協力>

外交部、国家発展改革委員会(含外局：マクロ経済研究院・中国城市小城鎮改革発展中心・能源研究所・国際合作中心)、工業信息化部、環境保護部(含外局：中日友好環境保護中心・国際合作中心)、商務部、国家税務総局、中国社会科学院、国務院発展研究中心、中国共産党中央対外聯絡部、中国国際貿易促進委員会、中国企業聯合会、中華全国工商連合会、中国日本友好協会、中国国際経済交流中心、北京市投資促進局、北京市節能環保中心、中国中煤能源集团有限公司、北京外交人員服務局、中国循環経済協会、中国工業節能清潔生産協会、中国企業家俱樂部(含：土士学習聯盟、中国緑公司聯盟)、各地方政府等。

<日中長期貿易協議委員会関連事業>

第8次日中長期貿易協議に関する協力覚書が締結された。日中省エネルギー・環境総合フォーラムLT分科会の開催等に協力した。

②調査・情報収集

- ・中国マクロ政策経済調査
- ・日中経済動向調査（対中直接投資、貿易、経済交流、日系企業動向等）
- ・省エネルギー、環境保護に関する現状や政策動向
- ・中国における新たな産業分野として、IoT、電子商取引について動向を分析
- ・都市化、高齢化対策等社会福祉制度充実化に向けた動向分析。特に都市化については日中スマートシティ協力についてモデル都市の具体化に注力
- ・中国の中央・地方各政府関連機関の人事情報
- ・日系企業経営環境動向調査報告書
- ・経済、金融、証券、エネルギー等の分野での主な統計、ニュース、産業動向等に関わる中国経済貿易、投資のトレンド調査
- ・経済、金融、証券関連の法律・条例等の中国制度情報調査
- ・東部沿海部・東北3省・内陸・中部地域における地域振興政策の現状と展望
- ・中国の対外開放政策（AIIB、一帯一路等）
- ・この他、中国日本商会、日本人会、日本人学校における運営・活動への参画並びに日本大使館、経済諸団体、研究機関、日系企業等との交流を通じて情報収集を行い、これらの情報については適宜会員への伝達に努めた。

【別添資料9】 上海事務所

①華東地域各行政機関・開発区等との交流

上海市をはじめとする華東地域（江蘇省、浙江省、安徽省等）の省政府および各地方政府などの行政機関や開発区等が開いた説明会や商談会等の各種イベントに出席したほか、それら機関の当事務所訪問への対応等を通して、積極的に交流を深めつつ、現地の実情など多方面にわたる情報収集に努めた。このほか中国側各行政機関や開発区が行う投資説明会やビジネスマッチングに関して、アドバイスや日本の関係機関との連絡調整を進め、日本企業に対する関連情報の提供や参加案内を行った。現地発行の媒体等を通して、法律・通達などの制度情報の紹介、コラムの掲載などにも取り組んだ。

②情報サービス提供、相談業務

華東地域に所在する会員企業及び関連する現地法人をはじめとした日系企業の相談、情報交換、問い合わせへの対応などに努めた。また、上海日本商工クラブや、在上海の各県人会など日系企業の集まる研究会の場で、中国に関する政治経済情報などをテーマとした講演を行ったほか、当協会機関誌や現地の情報誌等への寄稿を通じて広く

情報発信を行った。

他方、日本の関係各機関や企業等の華東地域への出張や調査実施等には、レクチャーや意見交換、情報提供などを行うと共に、中国側関係機関の紹介や現地トラブル対応などの各種の便宜供与を行った。また、上海に展開する各地方自治体から寄せられる相談案件に対応したほか、当地での共通課題に関する情報交換や中国側との連絡調整などを行った。

更に日中の大学生が主催する日中友好成人式へのアドバイスや便宜供与、中国人が主催する各種の日中友好交流行事への積極的な参画を図り、民間交流の促進にも努めたほか、8月から9月の1カ月間にわたり金沢大学からインターン学生を受け入れた。

<日本側関係機関>

(政府関係機関・団体等) 経済産業省、農林水産省、日本政府観光局、在中国日本国大使館、在上海日本国総領事館、日本貿易振興機構、日本政策金融公庫、日本商工会議所、日中経済貿易センター、日中投資促進機構、商工組合中央金庫、中国日本商会、上海日本商工クラブ 他

(自治体) 福岡県、大分県、長崎県、熊本県、大阪府、福井県、長野県、石川県、岐阜県、静岡県、茨城県、福島県、北海道、福岡市、北九州市、大阪市、神戸市、横浜市、川崎市、札幌市 他

<当事務所の各種事業等及び以下の諸活動に参加>

- ・アピタでの九州物産展参加 (3月30日～4月10日)
- ・自治体事務所等を対象とした企業訪問勉強会・交流会開催 (4月8日)
- ・日中友好成人式(後援事業)出席、祝辞 (4月10日)
- ・中国国際投資貿易商談会出席 (4月15日)
- ・マカオニューヤオハン「ジャパンウィーク」物産展参加 (4月12～16日)
- ・アニメ「名探偵コナン20周年」記念イベント出席 (4月22日)
- ・極楽湯での九州観光PRイベント出展 (4月22～24日)
- ・JAICセミナーにて講演 (4月26日)
- ・「ウルトラマン50周年」記念式典出席 (4月28日)
- ・久光百貨店静安寺店での物産展参加 (4月29日～5月1日)
- ・湖北省孝感市懇談会出席 (5月9日)
- ・湖北省投資説明会出席 (5月10日)
- ・第6回中・日・韓芸術展覧会開幕式出席・観光プレゼン実施 (5月15日)
- ・昆山ブランド産品輸入交易会 石川県ブース出展 (5月19～21日)
- ・キヤノン博覧会視察 (5月20日)
- ・上海世界旅行博覧会視察 (5月20日)
- ・日中長寿企業シンポジウム(後援事業)出席 (5月22日)

- ・上海日本商工クラブ紙パルプ繊維部会にて講演（5月26日）
- ・中小企業ビジネスマッチング企業「SKYZE」開業式出席（5月27日）
- ・上海「一期一会の会」文化交流イベント出席（5月28日）
- ・上海市世界博覧会地区説明会・視察会参加（5月31日）
- ・上海市金山朱経「生命健康産業」発表交流会出席（6月8日）
- ・日本商品大連地区巡回展参加（大連市）（6月8～12日）
- ・上海国際映画祭日中映画週間記念式典出席（6月12日）
- ・シティスーパーでの物産展参加（6月16～7月6日）
- ・高島屋での九州物産展「九州うまか祭り」出展（後援）（6月16～27日）
- ・事務所登記問題に関する自治体関係者会議主宰（6月17日）
- ・中華総商会上海聯誼会設立2周年行事参加（6月17日）
- ・ビジットジャパンサロン出展参加（6月18～19日）
- ・上海総領事館での熊本地震支援イベント参加（6月19日）
- ・華東地区日本商会関係者との交流会参加（6月25日）
- ・上海ブラスバンド第23回定期演奏会（後援）（6月26日）
- ・上海国貿中心の企業・機関による合同交流会主催（7月1日）
- ・プロパックチャイナ上海視察（7月14日）
- ・イトーヨーカ堂三里屯店での物産展参加（北京市）（7月14～17日）
- ・日中地域間交流推進セミナー参加（陝西省）（7月20～23日）
- ・同濟国際緑色産業創新中心の調印式・技術セミナー参加（7月24日）
- ・第16回全国日本人交流会出席（7月29日）
- ・ギフトショーイン上海開幕式出席（8月2日）
- ・香港FOODEXPO出展支援（8月9～14日）
- ・香港食品商社石川県招聘商談会（8月22～26日）
- ・大金（中国）投資有限公司主催「ダイキン納涼祭」参加（8月23日）
- ・広汽三菱自動車ラインオフセレモニー出席（長沙市）（8月26日）
- ・台北精緻酒展参加（台湾）（8月26～28日）
- ・上海経貿山九蓄運有限公司視察会実施（8月29日）
- ・マカオ旅行博出展（9月2～5日）
- ・大分県台湾プロモーション実施（9月7～10日）
- ・中国人力資本論壇2016フォーラム（後援）出席（9月8日）
- ・上海市対外友好協会60周年記念式典出席（9月12日）
- ・上海半導体組合（SES）にて講演（9月13日）
- ・中秋節記念文化交流会出席（9月16日）
- ・上海日本商工クラブサービス部会にて講演（10月12日）
- ・香港総領事館秋祭り認定イベント「縁日」出展（10月14～16日）
- ・安徽省「徽商大会」出席（安徽省）（10月18日）

- ・上海包装機械現法懇話会第1回学習会開催（10月18日）
- ・杭州文化創意産業博覧会北海道関連出展支援（浙江省）（10月20～23日）
- ・旅行雑誌「行楽」主催読者会での九州PRイベント開催（10月22日）
- ・岡山大学上海事務所開所式出席（10月29日）
- ・ピーチアビエーション（ピーチエア）開業式出席（11月2日）
- ・中国国際漁業博覧会出展（青島市）（11月1～4日）
- ・中国国際工業博覧会出展（上海市）（11月1～5日）
- ・香港ユニバーズ佐フェア（11月5日～7日）
- ・浙江省義烏市視察会参加（浙江省）（11月15日）
- ・台北国際酒展出展（台湾）（11月18～21日）
- ・上海日本人学校開校30周年記念式典出席（11月19日）
- ・上海総領事館主催天皇誕生レセプション出席及び出展（12月1日）
- ・石川県伝統的工芸品商談会・講演会開催（12月1日）
- ・2016初音ミク中国ツアーin上海出席（12月3日）
- ・Hi百貨石川県伝統工芸品販売フェア（広州市）（12月3～11日）
- ・12th INTERCHAMBER CHRISTMAS MIXER出席（12月6日）
- ・ダイキン主催「大金之声合唱音楽会」出席（12月12日）
- ・上海ブラスバンド第24回定期演奏会（後援）（12月18日）
- ・四川省上海商会設立10周年記念式典出席（1月6日）
- ・上海国貿中心の企業・機関による合同交流会主催（1月11日）
- ・上海Mart 謝恩会出席（1月12日）
- ・中国国際貿易促進委員会上海市分会新年会出席（1月13日）
- ・九州農産物直販イベント参加（香港）（1月18～21日）
- ・上海総領事公邸における新春祝賀会出席（1月22日）
- ・上海市外事弁公室との交流会（1月23日）
- ・上海日本商工クラブ総会・賀詞交歓会出席（1月25日）
- ・「新外国人就労制度に関するセミナー」開催（2月13日）
- ・JTBアウトバウンドライセンス取得感謝会出席（2月16日）
- ・安徽省新春懇談会出席（2月17日）
- ・中国旅行社「C-トリップ」年会出席（2月21日）
- ・湖北省襄陽経済開発区説明会出席（2月23日）
- ・石川県企業香港食品商社等セールス実施（2月23～24日）
- ・中華総商会上海聯誼会視察会及び新年会出席（2月24日）
- ・上海日本商工クラブ「上海汽車城視察会」参加（2月28日）
- ・江蘇省常州経済技術開発区説明会出席（3月1日）
- ・江蘇省常州市新春懇話会出席（3月2日）
- ・上海留日同学会日中友好植樹祭参加（3月3日）

- ・上海包装機械現法懇話会第2回「松江企業視察会」開催（3月6日）
- ・2017年中智日本企業倶楽部新春賀詞交歓会（後援）出席（3月8日）
- ・日本繊維輸入組合にて講演（3月10日）
- ・マカオホテルオークラ「大分県 食の旅フェア」（3月15日）
- ・中国国際貿易促進委員会上海分会との交流会（3月17日）
- ・金沢大学北京事務所開所式・中国同窓会出席（北京市）（3月25日）
- ・武漢イオン JAPAN 大分フェア（3月30日～4月2日）

③上海包装機械現法懇話会

同懇話会は、日本包装機械工業会からの要請により、同工業会会員企業で主に華東地域に進出している現地法人をメンバーとして平成18年5月に設立されたもの。平成28年度は、会員企業個別の相談事項に対応したほか、勉強会とメンバー企業の視察会を開催し、現地法人経営に従事するメンバーに対して、企業活動に資する定期的な勉強会と交流の場を提供した。

④北海道経済交流室、大分県経済交流室、石川県経済交流室

北海道、大分県、石川県と中国との間の経済交流を推進するため、各経済交流室を設置している。地元企業の進出支援、物産の販路拡大、来日観光客の誘致などを目的に、各経済交流室では以下の通り諸事業を実施した。

<企業支援、輸出促進等>

1) 北海道経済交流室

北海道産品の販路拡大支援として、上海市内のデパートや高級食品スーパーにおける北海道物産展（8月、3月）や、中国全土の系列日系大手スーパーにおける北海道物産展等の開催支援（7月）、成都市の大手スーパーにおける道産食品を主とした物産展の開催支援（3月）、道産食品を扱う商社の国際食品展示会（6月）への出展支援、道内家具メーカーの上海ショールーム開設支援（9月）を実施したほか、北海道産米の北海道知事による販売促進プロモーション（上海市、11月）に協力した。

2) 大分県経済交流室

輸出促進では、上海市、北京市、青島市、香港、マカオ等で開催された展示会や物産イベントで試食会等を行い県産品の販促を支援した。また、香港 FOOD EXPO（8月）、大分県台湾プロモーション（9月）、香港ユニバーズフェア（11月）、マカオホテルオークラ「大分県食の旅フェア」（3月）に参加し県産品をPRした。

このほか、上海、広州、香港、マカオ、台湾の商社を個別訪問し、輸出を希望する県内メーカーの商品について商談を行った。

3) 石川県経済交流室

石川県産品の販路開拓支援として、11月に県内中国進出企業6社の参画を得て、国内最大規模である中国国際工業博覧会（上海市）に出展した。食品については、上海の食品商社を日本に招聘し、石川県庁において県内食品企業との商談会を実施した。

その他、香港の食品商社を日本に招聘し、石川県庁において県内食品企業との商談会の実施や、香港日本総領事館の主催による日本秋祭りの一環イベント「縁日」へ石川県ブースを出展し、石川県の食材のPRを行ったほか、現地貿易商社等に対して県内企業7社と共に同行営業セールス（3月）を行い、石川県産食品の販路開拓に努めた。

伝統工芸品分野では、現地コーディネータと連携し、広州市の生活用品販売店等との商談会・講演会を開催（12月）、その中から一番可能性の高いバイヤーを日本へ招聘し、県内の工芸品の産地等を訪問して商談を実施し、販路開拓に努めた。

<観光客誘致>

1) 北海道経済交流室

観光客の誘致としては、広州市（9月）、杭州市（10月）において開催された旅行博覧会等への出展やビジットジャパンサロン（上海、12月）に参加し観光PRを実施した。また、道内企業（8月、運輸会社）が現地旅行会社と共に上海で開催した北海道観光セミナー等の開催に協力して北海道観光PRを実施するなど、様々な機会を活用して北海道観光のPRを行い、誘客促進に努めた。

2) 大分県経済交流室

観光客誘致については、日本商品大連地区巡回展（6月）、大分県台湾プロモーション（9月）、マカオ旅行博（9月）で大分県の観光PRを行った。また、上海駐在の九州自治体事務所と連携し、極楽湯での九州観光PR（上海、4月）、ビジットジャパンサロン（上海、6月）、旅行雑誌「行楽」主催イベントでの九州旅行PR（上海、10月）に参加し、九州全体の観光PRを行った。

このほか、九州旅行を積極的に企画・実施している上海市内の旅行会社を個別訪問し、会議旅行や社員旅行の誘致などを行った。

3) 石川県経済交流室

天皇誕生日レセプション（12月、上海）等の上海総領事館主催イベントに参加したほか、北陸3県が合同しての隔月メールマガジン「北陸 JAPAN」の配信、中部圏が合同して無錫桜祭り等で昇龍道をPRするなど、様々な機会を捉えて観光PRを行い誘客促進に努めた。

<その他>

1) 北海道経済交流室

微博（ミニブログ）、微信、動画投稿サイト、ホームページを開設して、北海道の観光と食の魅力等の情報を随時発信した。

また、香港で実施されたJETRO主催の「対日投資セミナー」（7月）において北海道の観光リゾートへの投資に関するプレゼンテーションを行ったほか、道内自治体（恵庭市）が主催した台北での「北海道恵庭市企業商機拡大セミナー」において北海道の投資環境と恵庭市への投資に関するプレゼンテーションを行った。

道議会議員訪問団（8月）、道農政部（8月）、道総合政策部（3月）の市場調査への同行・便宜供与を行った。

2) 大分県経済交流室

熊本地震後に上海を中心に寄せられた義援金に対し「熊本地震復興支援イベント～頑張れ熊本・大分、ありがとう中国！～」を上海総領事館との共催で行った。また、中国大陸以外に、当室が所管する香港、マカオ、台湾において、知事が参加した台湾プロモーション（9月）、農林水産部長が参加した日本商品大連地区巡回展（6月）、農林水産部審議監が参加したマカオホテルオークラ「大分県食の旅フェア」への同行・便宜供与を行った。

3) 石川県経済交流室

中国石川県人会（登録会員数：190名）の事務局を務め、3回の勉強会・懇親会を開催するなど会員相互の交流促進を図った。このほか、11月には、石川県商工労働部次長の江蘇省表敬訪問、江蘇省商務庁幹部参画による県内進出企業視察等を行い、30年来の友好交流地域である江蘇省と石川県との経済交流支援強化に努めた。

⑤その他

世界最大の在外経済組織である上海日本商工クラブ（会員数2,438企業等、2017年2月末現在）の活動に関して、上海事務所長が常任顧問を務め、各部会での講演などを通じ情報提供したのをはじめ、各種活動に積極的に参加した。

【別添資料10】 成都事務所

① 西部地域各行政機関等との交流

四川省や成都市をはじめとした西部地域の各行政機関及び各地の開発区が開催した様々な行事への参加、各関係機関の当事務所への訪問対応などを通して、新政策や各種の情報収集に努めた。また西部博覧会への参加など、四川省をはじめとする各行政機関が開催する事業に積極的に参画し、日中間の相互理解の促進に努めた。

<以下諸活動に参加>

- ・「中外知名企業四川行」イベント出席（4月11日）
- ・成都日本商工クラブ2017年度総会開催（4月12日）
- ・成都日本商工クラブ役員会（4月12日）
- ・成都伊藤洋華堂運動会開幕式出席（5月17日）
- ・「中国（四川）自動車産業投資協力大会」出席（5月19日）
- ・四川優勢産能国際合作推薦会出席（5月19日）
- ・第五維国際インキュベーター開園式出席（5月20日）
- ・成都日本商工クラブ役員会（6月15日）
- ・2016中国（四川）電子インフォメーション産業投資合作推薦会出席（6月16日）
- ・第4回西南商品博覧会発表会出席（7月6日）
- ・四川省商務發展事務センター連絡会出席（7月13日）
- ・成都日本商工クラブ役員会（7月22日）
- ・成都日本商工クラブ納涼会開催（8月24日）
- ・2017中国成都グローバル創新創業推薦会出席（8月25日）
- ・海南省観光局イベント出席（9月25日）
- ・成都日本商工クラブ役員会（9月27日）
- ・四川省政府国慶節招宴出席（9月30日）
- ・成都日本商工クラブ役員会（10月27日）
- ・ジャパンプランド実行委員会出席（10月28日）
- ・跨境服務貿易發展大会出席（11月2日）
- ・西部博覧会開幕式出席（11月3日）
- ・西部博覧会四川省投資説明会出席（11月3日）
- ・四川省金陽県、馬辺県、美姑県産業貧困対策説明会出席（11月4日）
- ・第一回国際商（協）会合作發展大会出席（11月4日）
- ・第3回海外投資促進フォーラム出席（11月10日）
- ・第3回ジャパンプランド開幕式（後援）出席（11月18日）
- ・成都日本商工クラブ日帰りツアー開催参加（12月3日）
- ・在重慶日本国総領事館主催天皇誕生日レセプション出席（12月9日）
- ・成都日本商工クラブ忘年会（12月13日）
- ・成都日本商工クラブ役員会開催（12月13日）
- ・広元市利州区代表企業視察及び現地政府との交流（12月13～14日）
- ・西博会之夜及び2017重大活動推薦会出席（1月11日）
- ・四川省外商協会主催セミナー出席（1月13日）
- ・2017四川省対外工作交流会出席（1月22日）
- ・成都伊藤洋華堂有限公司イベント出席（2月10日）
- ・成都日本商工クラブ役員会出席（2月27日）
- ・成都伊藤洋華堂有限公司「日本商品展」参加（3月9日）

- ・「2017 品西蜀韻・樂郫都行」地方視察参加（3月10日）
- ・成都市新都区視察（3月17日）
- ・中日大学交流イベント出席（3月19日）
- ・「一带一路」イスラム食品博覧会開会式出席（3月20日）
- ・四川省対外友好協会主催嘉州行地方視察会参加（3月25日）
- ・成都日本商工クラブ役員会（3月30日）
- ・「外国領団天府新区行」イベント出席（3月31日）

②日系企業等への情報提供、応談業務

西部地域に所在する日系進出企業等からの相談対応、情報提供等を行ったほか、日系企業の関心事項に関して、四川省政府等行政機関への問い合わせなどを行った。日本や中国各都市から四川省等西部地域を訪問する各機関や企業、研究者に対し、現地情報のブリーフィング、意見交換、情報提供等のほか、四川省や成都市、重慶市等の政府機関への訪問アポイント、随行などの各種便宜供与を行った。

また、成都に所在する各国総領事館、EU 商会など各国の経済団体・代表処との交流を積極的に図り、現地経済情報をはじめとした意見交換に努めた。

<日本側関係機関等>

成都日本商工クラブ、在重慶日本国総領事館、ジェトロ成都代表処、広島県 他

③四川省との交流への取り組み

日常的に四川省政府をはじめとした各地方政府との情報交換や連携に積極的に取り組んだ。4月の「中外知名企業四川行」、11月の西部博覧会など同省が主催・共催する各種行事の多くに出席し、省長をはじめとする指導者・幹部との会見・交流を行っているほか、4月の内江市任曉春副書記・市長との会見、2016年11月の攀枝花市黄岳槐副市长等との会見など地方都市リーダーとの交流にも力を入れた。

また、四川省博覧会事務局の蔡志民副局長を団長とした訪日団（5月）、同省投資促進局の胡川江副局長一行（2月）などを当協会で受け入れ、相互理解を深めると共に、日本企業による訪問等への支援を通じて経済交流の具体的な進展に努めた。

④成都日本商工クラブへの支援

成都日本商工クラブの事務局として、現地日系企業・在留邦人の交流に関わる活動を支援した。2016年度からは成都事務所長が同クラブの副会長兼事務局長を務めている。事務局では会員証の発行支援を行ったほか、総会（4月）、納涼会（8月）、忘年会（12月）の開催を支援した。また8月に北京市で開催された、中国各地の日本商会など、在留邦人代表が集う日本人交流会に、成都代表として参加した。

更には、四川省人民政府や成都市人民政府から提供される情報を、適宜同クラブメ

ンバーに発信したほか、在重慶日本国総領事館からの情報通知、連絡業務への支援についても日常的に実施した。

⑤その他

2015年度より日本政府観光局（JNTO）の成都連絡所としての業務を行っている。四川省や重慶市をはじめとした中国内陸部からの訪日観光客の増加に資するため、政府関係機関や現地旅行会社との連携や関連情報収集に努めるほか、内陸部の観光客のニーズや課題の把握、日中双方の旅行社や航空会社などとの交流を進めた。

また、成都ジャパンブランド（11月）などのイベントにおいて、訪日観光PRを目的としたJNTOブースの出展などにも協力した。

【別添資料11】 瀋陽事務所

①経済交流

地域の実情に合わせて、特に東北4省区（遼寧省、吉林省、黒龍江省、内蒙古自治区）の現地日系企業との交流、賛助会員への情報発信を強化したほか、日中それぞれが主催する以下各種イベントに積極的に参加し、経済交流を深めた。

- ・2016年瀋陽日本語文化祭参加(4月24日)
- ・2016年中国(瀋陽)国際金融サミット参加(5月5日)
- ・第20回瀋陽日本語弁論大会参加(5月15日)
- ・2016年黒龍江省ビジネス交流ミッション主催(6月14～16日)
- ・第1回日中韓経済貿易交流会参加(6月20～21日)
- ・2016北東アジア国際環境保護博覧会新聞発表会参加(7月15日)
- ・本溪市桓仁満族自治県視察主催(7月16日)
- ・第15回中国国際装備製造業博覧会開幕式及び川崎・瀋陽市友好都市交流協力調印式参加(9月1日)
- ・白山市投資説明会参加(9月28日)
- ・世界500強企業走進吉林開幕式及び新常态、新起点、新機遇2016開発区対話フォーラム参加(9月29日)
- ・遼寧省中日友好協会企業文化中心成立大会参加(10月5日)
- ・中国東北発展振興と日本一経済転換期区域経済発展と国際要素フォーラム参加
(10月15日)
- ・第15回日中経済協力会議一於富山主催、参加(11月21～23日)
- ・駐瀋陽日本国総領事館主催天皇誕生日レセプション参加(12月2日)
- ・瀋陽市中独装備製造パーククリスマスパーティー参加(12月12日)
- ・2017年ハルビン寒冷地フォーラム参加(1月3～4日)
- ・第33回ハルビン国際冰雪祭歓迎レセプション参加(1月4日)
- ・遼寧省中日友好協会16年度総会及び17年度新年会参加(1月9日)

- ・瀋陽諾愛教育学校新年会コンサート参加(1月14日)
- ・2017年黒龍江省ビジネス交流促進ミッション主催、参加(1月20～23日)
- ・大連日本商工会関連企業との懇親会主催、参加(1月24日)
- ・第2回東北経済勉強会参加(2月17日)
- ・2017瀋陽中日民間伝統芸能合同公演式参加(3月5日)
- ・瀋陽撫順新区企業誘致説明会参加(3月15日)

②情報収集・実情調査

下記の通り会員企業への情報発信に注力した。メールマガジン『日中東北』の現地便り執筆などを通じ、東北4省区の最新経済情報、現地トレンド情報等を会員企業に発信した。

メールマガジン『日中東北』・現地便り執筆

- 4月 東北振興政策と関連プロジェクト
- 5月 東北4省区の第13次五カ年計画について
- 6月 東北地区の全面振興に関する若干の意見について
- 7月 国家級新区・長春新区の概要
- 8月 黒龍江省ビジネス交流ミッションの派遣結果概要
- 9月 東北振興政策の最新関連動向
- 10月 遼寧省の今年上半期の貿易動向について
- 11月 最近の東北経済の動向
- 12月 富山会議開催後の余談
- 1月 Eコマースから読む東北4省区の最新消費動向
- 2月 黒龍江省黒河市の視察所感
- 3月 東北4省区の政府工作報告について

③現地の政府・関連機関への協力及び進出日系企業支援

遼寧省、瀋陽市をはじめ東北4省区の各地方政府機関、経済団体、研究機関、企業及び日系企業、駐瀋陽日本国総領事館等との人的ネットワークを活かし、経済情報の収集・発信力強化及び実務協力の促進に努めた。特に日系進出企業及び地方自治体の現地事務所等に対しては、ビジネスマッチング、問題解決に協力したほか、実務面の具体的なアドバイス、レクチャー及び各種アレンジを行った。